



本年最初の定例会は
2月22日（月）
開会です。



市議会だより

平成28年1月1日号 No.53



NHK大河ドラマ「真田丸」の放送に合わせて真田幸村ゆかりの陣羽織を着用して撮影しています。

市民の中の議会であり続けるために

～合併後十年を振り返って～

議長 下村 栄

副議長 池上喜美子

明けましておめでとうございます。謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

上田市は今年、合併十周年を迎えることとなります。この間を振り返ってみますと、それまで各々の議会が蓄積してきたものをいったん白紙にし、改めて新市にふさわしい議会運営を再構築した十年でした。また同時に、市議会がその機能と責任を果たすためにはどうすればよいのかを考えて、「市民の中の議会であり続けるために」議会改革に取り組んできたところです。

折しも、この市議会だよりが皆様のお手元に届くころには、かつて戦国時代の荒波の中を懸命に生き抜いた真田家を題材にしたNHK大河ドラマ「真田丸」の放送が目前に迫っていることと思います。現在の上田市の姿も、かつて新政府の行政を行き渡らせるために村が再編された「明治の大合併」、戦後の合理的な地方自治制度の確立の中で始まった「昭和の大合併」、そして地方分権の受け皿づくりが図られた「平成の大合併」の荒波の中で、当時の村や町や市が真田家と同様に懸命に考えて新たな船を仕立て、航海を続けてきた事と重なることを考えることもできます。上田市議会といたしましても、この十年を検証し、引き続き「市民の中の議会」として気持ちも新たに、この先の人口減少社会における舵取りに臨んでまいります。

結びに当たり、市民の皆様にとりまして本年が幸多き年となりますようお願い申し上げます、年頭のごあいさつとさせていただきます。

議会報告会で参加者と活発な意見交換

～初の試みとしてテーマ別車座集会を開催～



サントミュージゼで行われたテーマ別車座集会

議員が各会場に出向き、市議会について説明、報告するとともに、市民の皆さんの声をお聞きする、第5回上田市議会報告会を平成27年10月19日（月）から10月23日（金）まで、市内の5会場で開催しました。

本年度で5回目となる議会報告会では、従来方式での報告会を19日から21日まで3日間にわたり、市内3会場で開催。4つの常任委員会と2つの特別委員会からの活動報告の後、意見交換を行いました。



丸子ふれあいステーションでの報告会

また、本年度初の試みとして、22日、23日の2日間にわたり、テーマ別の車座集会を開催しました。これは、4つの常任委員会であらかじめテーマを絞り、一つの会場でグループ単位で参加者の皆さんと意見交換を行い、理解を深めるというもので、これまで要望の多かった「もっと身近に議員と話がしてみたい」という声に応える形で実施しました。

今回の議会報告会には、合計で184人の市民の皆さんに参加していただき、多くの貴重な意見をお聞きすることができました。議会報告会の詳細については、今後の上田市議会だよりでお伝えする予定です。

報告会の意見交換で出された主な項目

- 請願・陳情の審査
- 「真田丸」放送、観光政策
- 防災関係
- 地域課題、地域内分権
- 資源循環型施設
- 消防団員の支援・確保
- 長野大学公立法人化
- 議会の活動、議員定数等

○報告会会場別参加者数

開催期日	実施会場	参加者数
10月19日（月）	塩田公民館	66人
10月20日（火）	上野が丘公民館	37人
10月21日（水）	丸子ふれあいステーション	40人

○テーマ別車座集会参加者数

開催期日	実施常任委員会	参加者数
10月22日（木）	総務文教委員会 環境建設委員会	18人
10月23日（金）	産業水道委員会 厚生委員会	23人



上田市議会には市の事務をより専門的に効率よく調査し、議案等を審査するための4つの常任委員会が設置されています。それぞれの委員会では、市民生活の向上や市の発展のため、議会での議案審査のほか、さまざまな調査・研究を行っています。議会報告会では、各委員会の活動概要についてご報告いたします。今回はその内容の一部をご紹介します。

委員会の活動について

総務文教委員会

川越市の地域内の大学の先生が市内の小学校・高学年生に向けてわかりやすく授業を教える「子ども大学」、郡山市の広告会社に首都圏向けの広報を委託する「シティプロモーション事業」、山形市の国体を契機とした「総合スポーツセンター建設基本構想」について視察しました。また、県教組上小支部との懇談を実施し、中学の部活のあり方や学校評価のあり方、インターネット利用による生活の乱れやトラブル、学力向上に向けた学校現場の取り組みなど、教育課題について意見交換を行いました。所管事務調査では、交通政策課題や入札方法について聞き取り調査を行いました。これらの視察や調査を通じて、市に政策提言を行うとともに、適切な予算執行に向けた委員会のチェック機能の充実に努めます。

産業水道委員会

NHK大河ドラマ「真田丸」を活用した地域振興は喫緊の課題であり、この機会を地域経済活性化にどう結び付けるのか、委員会として地元関係団体との懇談や大河ドラマ放送地への現地視察、様々な意見・要望を集約し行政へ提言します。(仮)「上田市中小企業振興条例」制定に向けた環境整備を推進するため、各種地元団体との協議や幅広く意見集約できる体制を実現します。農林業分野では地域特性を生かした振興策を模索し、六次産業化策、松くい虫対策及びジビエの積極的活用に関する調査研究を進め、政策提言に努めます。上下水道関連では業務改革推進や新たな企業会計制度導入による事業の推移、施設の長寿命化対策や染屋浄水所に設置された小水力発電事業などの政策を注視していきます。

厚生委員会

今年度から健康幸せづくりプロジェクト事業がスタートし、これにより特定健診の受診率向上や医療費の適正化が図られるのか精査し、必要な提言をしていきます。市立産婦人科病院は3年が経過し、昨年度は黒字化に転じるなど経営も安定してきました。今後は医師確保の取り組みと信州上田医療センターとの連携について注視していきます。また、高齢者の認知症患者数の増加を踏まえ、委員会では認知症を高齢者福祉の最大の課題と捉え、視察や勉強会を重点的に行ってきました。委員全員で認知症サポーター養成講座を受講し、啓発にも努めています。子ども・子育て支援新制度については、未満児保育や延長保育等で保護者の混乱はないか、保育現場での問題は生じていないかなど現状を注視しています。

環境建設委員会

地域内分権確立に向けて、全地域での「地域経営会議」の設置が進められようとしているなか、委員会では名張市の地域づくり組織の取り組みを視察しました。今後、推移を見守りながら、調査・研究を進めていきます。ごみの減量化の課題では「1日当たりのごみ排出量」が全国で2番目に少ない静岡県掛川市を視察し、今後市の様々な取り組みを検証しながら、提案もしていきます。空き家対策では「空き家等の適正管理に関する条例」で独自の老朽危険度判定基準を設け、また解体工事補助金もある生駒市を視察しました。国の特別措置法を活かすためにも委員会では提言しています。消防団員確保については、県の応援事業の推移を見守りながら、さらに市独自の応援事業の実施を提言していきます。

長野大学公立大学法人化についての ご意見をお寄せ下さい。



長野大学9号館（附属図書館・リブロホール）

◆ご意見の応募方法◆

郵送、FAXもしくは電子メールにて上田市議会事務局までお寄せください。

記載の様式は問いません。各応募方法の宛先は下記のとおりです。

- 郵 送 〒386-8601 上田市大手一丁目11-16
上田市議会事務局宛
- FAX 電話番号 0268-25-4100（代表）
※宛先に上田市議会事務局行きと記載してください。
- 電子メール アドレス：gikai@city.ueda.nagano.jp

締 切 ■平成28年1月29日（金）

お問い合わせ ■上田市議会事務局
電話番号 0268-22-0452

■長野大学の沿革

上田市と合併する前の旧塩田町が土地や資金を寄附して招致し、昭和41年4月に開学した本州大学が前身であり、昭和49年4月に学部構成と名称を変更。新たに長野大学として再建されて今日に至っています。

長野大学は今後の経営基盤を強化し、より地域貢献を進めるため、現在上田市に対して公立大学法人化を要請しています。

■長野大学公立大学法人化とは

運営資金の調達も教育研究の実践も直接市が行う市立大学とは異なり、教育研究の実践は現行の学校法人が解散、移行した公立大学法人に行わせ、市は中期目標の策定、大学の中期計画の認可、運営費交付金の交付、理事長等の任免などを通じて経営に関与し、設立者としての責任を果たすというものです。なおこの場合、国からの地方交付税額は計算上、増額となる。

ります。

■上田市議会の対応

市が設置した検討委員会は、長野大学の公立大学法人化を是としましたが、市議会としても公立大学法人化の是非を的確に判断できるように、研究委員会を設置して調査研究を進めています。この中で、市民一般の意向を把握する必要があることから、ここに、長野大学公立大学法人化についてご意見を募ることといたしました。

編集後記



新年あけましておめでとつございます。市民の皆様には素晴らしい年をお迎えのことと拝察いたします。本年も健康で、幸多き年となりますことを心からお祈り申し上げます。

1月10日（日）からいよいよNHK大河ドラマ「真田丸」の放送がスタートします。制作の方は順調に進んでいると聞いておりますが、真田氏がどのように脚色されて登場するのか、また、上田がどのように描かれているのか、頭の中で想像は尽きません。第一話を楽しみに待ちたいと思います。また、放送を機に上田市を訪れるであろう観光客のお一人お一人が、「また来てみたい」と思っていただけのように、市民一丸となっておもてなしの心でお迎えしたいものです。

さて、議会広報特別委員会は今年も委員一人ひとりの研さんに努め、より分かりやすく、市民の皆様に親しまれる広報紙づくりに努めてまいります。所存です。どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。（池田総一郎）

平成28年1月1日発行
発行：上田市議会
〒386-8601 上田市大手一丁目11番16号
Tel.0268 (22) 0452 fax.0268 (23) 5136
Email：gikai@city.ueda.nagano.jp
編集：議会広報特別委員会
委員長：渡辺 正博
副委員長：半田 大介
委員：林 和明・山田 英喜
小坂井二郎・金子 和夫
松山賢太郎・原 栄一
池田総一郎
印刷：田口印刷株式会社